

秋葉区 新関コミュニティ協議会

活動名：認知症サポーター養成講座と支え合いしくみづくり

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- 近年、認知症に対応する様々な取り組みがなされている。「助け合う福祉の新関」の一環として認知症に対する理解を深めるとともに、家族や近所のお年寄りをサポートする基礎知識を学ぶ機会として開催した。
- さらに「健康寿命の維持」が叫ばれて久しい昨今、「支え合いしくみづくり」に着手し健康で長生きのできる仕組みや活動の在り方を考える機会とした。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

- 地元社会福祉協議会と連携し指導助言を得るとともに、当日の講師にお願いした。
- 講義内容は、寸劇などを織り込んでもらい興味関心がもてるようにした。
- 講座に参加された人には、認知症サポーターの資格となる「オレンジリング」を渡すこととした。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

自治会・老人クラブ・民生委員・社会福祉協議会

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- 認知症に対する理解が得られた。
- 認知症に対するサポートの仕方が理解された。
- 参加者から積極的に質問等がなされ、参加者の関心の高さがうかがわれた。
- 「支え合いしくみづくり」に目を向けるきっかけとなった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- 「認知症サポーター」・「支え合いのしくみづくり」・「健康寿命」などの用語が錯綜する中、課題解決の道筋、手順に苦慮した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 健康寿命の維持増進に向けた「支え合いしくみづくり」は地域のお茶の間が核とされている。これまでのお茶の間（サロン）の在り方を見直していきたい。
- さらに、これからはなぜ「支え合い」なのかを地域住民から理解してもらう機会を作り、地域のお茶の間と連動した「支え合いのしくみづくり」を推進したい。
- そのためにも民生委員、自治会、老人クラブなどとの連携が一層大切となる。



秋葉区 小合地域コミュニティ協議会

活動名：花いっぱい親子大会

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

小合地域は従来から「花の小合」と言われているが、人々が多く集まる小合地区コミュニティセンター周辺や自治会・町内会の花壇には、新年度が始まる4月～5月にかけて咲く花が無く、又、花卉産業の先人を紹介するパネル等も無く、地域の特色をPRすることが十分できていなかった。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

新年度が始まる4月から5月にかけて咲く花として、チューリップやスイセンの球根を小合地区コミュニティセンター周辺及び各自治会・町内会、小中学校が管理する花壇等に植え、地域内外から来訪される方々に花を楽しんでいただくと共に、「花の小合」を紹介するパネルを作成展示し、地域の「花卉園芸」産業のPRと活性化につなげることにした。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

小合小学校、小合東小学校、小合中学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ① 地域の主要産業である「花」を子どもたちも含めた地域の方にPRすることができた。
- ② 「花」産業を通じた地域住民の交流ができた。
- ③ 子どもたちが地域に誇りを持つことができた。
- ④ 小合を訪れる人々に4月から小合の花を楽しんでもらえるようになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

従来の事業の他に追加した事業のため、スタートが遅れ、12月初めに球根植えを行うことになり、参加団体を募るのに苦労した。球根植え当日は時雨模様の少し寒い日であったが、幸い地域の小中学校の先生方や子どもたちの協力が得られ、作業終了後、暖かい豚汁を食べながら、花を通して大人と子どもとの交流ができた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今回の事業を出発点とし、今後も継続して地域の主要産業としての「花」を地域内外にPRし、地域を活性化していきたい。また、「花の小合」を紹介するパネルについても、今回は小合全体の花の一部しか作ることができなかつたので、今後更に多くの花をパネルにしPRしていきたい。今回はチューリップとスイセンの球根を植えることができたが、小合地域で栽培されている花は大変多いので、今後いろんな花を取り上げPRしていきたい。

